

2012年8月21日

現在、そしてこれから被災者の方々に必要な心のケア
症例や実践的な対処法等をまとめたハンドブックを制作

「震災から1年を経ての心のケア」 全国の医療機関に配布

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、医療従事者を対象としたハンドブック「震災から1年を経ての心のケア」を制作しました。

当ハンドブックは、東日本大震災から1年余りを経過した現在の被災者の方々に必要な心のケアについてまとめた内容で、福島県でメンタルケアに携わっておられる福島県立医科大学 丹羽 真一教授と、阪神・淡路大震災ほか複数の大規模災害での臨床経験が豊富な神戸赤十字病院 村上 典子医師の監修により、実際の症例や実践的な対処法を紹介しています。昨年、制作したハンドブック*と同様、被災者の方々の心のケアに対して活用していただけるよう、8月21日から全国の医療従事者を対象に無料配布いたします。

東日本大震災の被災地では、被災者の方々の心理的回復が遅れている状態にあります。特に、自然災害に加え原発事故に起因する被害を抱える福島県では、いまでも約15万人の方々が避難生活を余儀なくされており、将来の見通しが立ちにくい状況の中、ストレスにより心身症や抑うつ症状などを引き起こすケースが見られ、きめ細かな支援や心のケアが求められています。

当ハンドブックは、「震災から1年を経た、被災地の精神状況の実態」「これから起こりうる疾患や症状（人災と自然災害後の心の変化の違い）」「被災者（県内・県外避難）に必要とされる心のケア（対処法）」などで構成されています。県外に避難されている被災者の方々が多いこと、また、身体症状での受診が医療機関へのファーストコンタクトとなり得ることなどから、被災地の医師や専門医の方々だけでなく、全国のかかりつけ医や一般内科医の方々にとっても心得としていただけるように制作しています。

塩野義製薬は、本社のある大阪において阪神・淡路大震災を経験した企業として、さらには精神科領域で医療の一端を担う企業として、東日本大震災の被災者の方々の心のケアに対してサポートしてまいります。

当ハンドブックの概要は次の通りです。

- 【タイトル】 「震災から1年を経ての心のケア」
- 【監 修】 福島県立医科大学 会津医療センター準備室（精神医学）教授
丹羽 真一氏
神戸赤十字病院 心療内科部長
村上 典子氏
- 【内容項目】 ●震災から1年、現在そしてこれからの心のケアに求められるものとは
～丹羽 真一氏、村上 典子氏の対談～
●これから起りうる疾患や症状を知る
●実臨床における基本的な対処法
・ 初診の被災者へのアプローチ
・ 放射能による不安をもつ被災者
・ 原発事故での行き場のない怒りをもつ被災者
・ 風評被害で苦しむ被災者
・ 妊産婦、子どもをもつ母親の低線量被ばくへの不安
・ 悲嘆反応が強い被災者
・ 孤独感・孤立感、高齢者の認知機能低下
・ 専門家に相談した方がよい反応・症状
●被災者の心を傷つける可能性のある言葉
- 【仕 様】 A4判、4色、中綴じ、20ページ
- 【発行部数】 30,000部
- 【配布対象】 国内各地の病院、診療所などの医療従事者の方々（無料配布）

* 「阪神・淡路大震災等の大災害に学ぶ 心のケア」（監修：神戸赤十字病院 村上 典子氏）

東日本大震災の被災者や、救援者などの二次被災者、被災地を見守る人々の心のケアに関するポイントをまとめたハンドブック。2011年7月に全国の医療従事者に向けて発行。

以 上

[報道機関各位のお問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部 大阪 TEL：06-6209-7885 東京 TEL：03-3406-8164

[医療関係者各位のお問合せ先]

塩野義製薬株式会社 医薬情報センター フリーダイヤル：0120-956-734